

7-1

安全且つ便利な業務支援ツールの構築

ブロードバンド、携帯電話を利用した業務支援ツール

記録業務の効率化

情報の保護

特別養護老人ホーム **多摩の里むさしの園**

介護職 宮内智栄美 他4名

株式会社 アクセル

東京都羽村市五ノ神362番地

TEL 042-555-8151

E-mail m-kanemoto@enseikai.com

FAX 042-555-8152

URL http://www.enseikai.com

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

平成10年に開設した入所定員150名、ショートステイ3名の施設です。
「信頼・親切・清潔」を基本理念とし、利用者様が快適に過ごせるよう
お一人お一人の個性を尊重し、日々のお手伝いをしています。

〈取り組んだ課題〉

- * 事務作業の効率化と正確なサービス記録。
- * 介護現場でのコミュニケーションの増加。
- * コピキタス端末を利用したミス予防。

〈具体的な取り組み〉

システム開発会社と連携し、介護の実績記録を効率的に実施できる仕組みを構築した。

約半年間に渡り週一回の定例の会議を開催し、介護現場とシステム開発会社との情報共有を実施しながら開発を進めた。システム開発後は現場でのテストを実施し、現場介護士の要望を取り入れて、より使い勝手の良い仕組みを作り上げた。

- * 携帯電話による実績記録システムの開発。
- * 記録項目から自動的に報告書類が作成される仕組みの開発。
- * 新たに開発した「お知らせ機能」による、ミス防止メッセージの送信や啓蒙情報、共有情報の配信。
- * 利用者の情報をより詳しく表示する画面の設計。
- * 入居利用者全体の状況を容易に把握できる画面の設計
- * 各担当者が操作しやすいように独自の説明書を作成し、速やかな運用開始を実現した。

〈活動の成果と評価〉

- * 事務作業の効率化により、報告書作成の時間が短縮された。
- * 記録ミスが少なくなった。
- * 情報共有が促進された。
- * 必要な情報が随時確認でき、ミス予防に繋がった。
- * 利用者とのコミュニケーションの時間が増えた。
- * 利用者のより細かな情報を蓄積することができた。
- * 介護現場の意見が反映された製品ができあがった。

〈今後の課題〉

- * 介護課以外の医務課、栄養課や経理課へも同様なシステムを導入し、各部署との連携を効率化していく。
- * 介護士が経験や日常の業務にて会得している知識や経験を反映できるシステムや仕組みを構築する。
- * 記録した内容を利用者のご家族向けに配信し、ご家族との信頼関係を構築する。
- * ご家族側にて、適切な情報取得による安心感を得ていただく。

〈参考資料など〉

- * 発表資料。
- * 共同開発を行った、システム開発会社の製品パンフレット。